

挑む 医

第1部 寿都から

らに紹介した。

次に勤務した北見の

護の原点に戻れるか

診療所にまかれた家庭

医療の種。それが芽吹

き、担い手が地元で育

派遣元の室蘭の医療

専門病院では、検査や

も「履歴書を出した。

いま、顔なじみの患

者、担い手が地元で育

ちつつある。

所長の中川貴史さん

され、患者に声を掛け

る暇もなかった。

日々の困りごとを聞いて

医師につなぐ。

いつか自分も

(34)らとつくった職場

を離れるつらさと、地

ある冬の夜、認知症

て医師につなぐ。

いつか自分も

寿都診療所は、医師

⑧ 受け継ぐ

が北海道家庭医療学セ

ンター(室蘭)、看護

師も医療法人「母恋」

に励んでいる。

地元から次の担い手

「私の後に、看護師

長になるのは寿都生ま

じり、涙があふれた。

「自分は何のために働

いているのか」。情け

なくなつた。

中学生の時、肺炎で

10日、後志管内寿都

町の町立寿都診療所。

新しい看護師長の田

中さんは、かつて道立

患者の生活全体を支え

るという家庭医療が故

に6人に増える。

3月末で異動する看護

師長の高橋菊枝さん

寿都病院にいた。6年

郷の寿都で働きだして

月に6人に増える。

を見て、「いつか自分

ひとつになるはずだ。

(51)が、後任の田中み

ゆきさん(41)を介護士

一度、寿都を去った。

いることを知り、「看

6年前、外からこの

も、マチの医療を良く

中川さんは、よくス

ゆきさん(41)を介護士

一度、寿都を去った。

いることを知り、「看

6年前、外からこの

も、マチの医療を良く

中川さんは、よくス

わり



地域に医師を定

着させる取り組み

道内の医学部生の3割

6年間で約1200万円を

以上が卒業後、道外に流

貸し付ける奨学金制度を

出する中で、札幌医大、旭

川医大は、道内の高校生

を対象にした地域枠推薦

入試制度を2008年度

から実施。道は、地域枠の

どの奨学金制度を持つ。

「ここから

出て行く人

は多い。出

ようで行った人

が『もう一

度帰ってき

師が出るかもしれない」と思

うような地

連載へのご感想をお寄せください。

▶Eメール uryou@hokkaido-np.co.jp

▶ファクス 011・210・5592